

伊賀市 事務事業評価シート

経常的事務事業

事業名	1236	事業計画策定委員会経費	会計	09	介護保険特別会計
基本施策	6	高齢者の健やかな生活を支える	款	01	総務費
担当部課名	介護保険課		項	01	総務管理費
作成者氏名	中出 富一	連絡先	目	01	一般管理費
			細目	101	一般管理経費
			細々目	02	事業計画策定委員会委員経費

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
	第1次高齢者保健福祉計画及び第3期介護保険事業計画の策定	伊賀市が行う介護保険事業に係る保険給付の円滑な実施が図られる。
本年度事業内容	有識者や市民参加の委員27名で構成し、年間7回の会議を開催し、第1次高齢者保健福祉計画及び第3期介護保険事業計画の策定を行った。介護保険制度の施行に伴い、サービスの需要と供給、サービス別の整備目標量、保険料の推計、高齢施策の検討などを協議した。	
根拠法令・要綱等	介護保険法	

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)	0.5	0	0
	人件費合計(A)	3,600	0	0
②支出内訳(千円)	事業費(B)	2,998	0	0
	相談員報酬	938		
	策定委託料	2,000		
	その他	60		
合計(A+B)		6,598	0	0
③財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金			
	地方債			
	受益者負担			
一般財源	6,598	0	0	
上記①～③に関する特記事項 次回計画策定は平成20年度を予定している。				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
委員会開催回数	回	7	—	—			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
第1次高齢者保健福祉計画及び第3期介護保険事業計画に記載されている事業実施率	平成18年度から平成20年度の計画策定を行い事業実施することが必要である。年次計画の確実な実施のため本指標とする。	%	— 目標	100	100
			目標		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

介護保険制度施行5年を目的に制度の見直しが法定されており、高齢化による認定者の増加、サービス給付費の増加による財政負担の増大と介護保険料の上昇が課題となっていることから、平成17年度に大きく制度の見直しがなされ、事業の策定期間が5年間から3年間に変更になり、今回の策定は18年度から20年度までの策定計画となっている。
---

評価	有効性	3	会議資料は事前送付し、委員会の開催における説明等は要点のみを説明し、議事の効率化を図った。	総合評価
	達成度	3		
	効率性	3		
				A